

みなみいせ

2011



20号

2011.9.1
議会だより



五ヶ所小学校避難訓練のようす

主な
内容

- 第2回定例会……………2～3
- 一般質問……………4～15
- レポート 常任委員会報告…16～17
- 絶景スポットほか ……18

発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

あわてず 早く!
もっと高く!
もっと高くへ!!

第2回定例会

6月14日から16日の3日間、6月定例会が開催され、一般会計補正予算をはじめ7件の補正予算案、南伊勢町表彰条例他2件の条例案、財産の取得に関するもの1件の10議案の審議と報告6件の説明、そして一般質問が行われ、10議案はいずれも原案通り承認されました。

また、東日本大震災を受け、防災対策関連予算、家具固定事業資金1,000万円を含む、7,200万円の増額補正が認められました。

議案

- 平成23年度南伊勢町一般会計補正予算
- 平成23年度南伊勢町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算
- 平成23年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算
- 平成23年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算
- 平成23年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成23年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算
- 平成23年度南伊勢町上水道事業会計補正予算
- 南伊勢町表彰条例
- 南伊勢町情報公開条例の一部を改正する条例
- 南伊勢町税条例の一部を改正する条例
- 財産の取得について

以下、繰越明許費、繰越計算書5件の報告と、平成23年度南伊勢町上水道事業会計予算の繰越について1件が報告されました。

主な質疑

臨時職員の仕事の 内容は

問 議員 臨時職員の賃金について説明を。

答 水産農林課長 町鳥 獣被害対策実施隊の報酬48万3,000円である。

どうなる 避難路整備

問 議員 避難路整備工事に3,000万円が盛り込まれているが、どの地区を予定しているか。

答 総務課長 副町長をトップにプロジェクトチームを組み、各地区の調査内容を精査し優先順位をつけ、保育所、小学校なども含め必要などから最優先に整備を行う。

大幅減の理由は

問 議員 水産業振興費の中で国庫補助金2億5,542万円が削減されているが。

答 水産農林課長 神前 浦で進められているマグロ養殖の国庫補助金が、国の方針で変わったためである。

減額の影響は

問 議員 子ども手当の945万円減で、何人くらいの方が影響を受けるのか。

答 福祉課長 135人の方が対象となり、6ヶ月の暫定ではあるが1人あたり7,000円の減額となる。



過去の津波はこんなところまで来たらしい
(切原 滝 シマダ)



安政の津波はバックネットの付近まで来たという
(五ヶ所小学校 グランド)

高額な弁護士費用の内容は

問 議員 弁護士委託料が94万5,000円とあるが、新たに発生した裁判があるのか。

答 総務課長 すでに結審した臨時職員の給与に関する件、不明金に関する件、浮島パークの件、以上3件にかかる弁護士謝礼が、1件につき31万5,000円かかっている。

かかった費用は戻るのか

問 議員 勝訴の場合の費用は原告持ちと聞いているが、かかった費用はもどってくるのか。

答 総務課長 勝訴の場合でも弁護士費用はもどってこない。弁護士に相談中であるが、原告に請求出来る費用は、裁判にかかった直接の費用となるので、10万円までの金額になりそうである。

南伊勢町表彰条例

町の発展や公共の福祉の増進に貢献した方や、広く町民の模範となる行為をした方を称え、感謝の意を表し、その行いを広く知らしめることにより、後進者への励まし、動機付けをし、さらなる公益増進と誇りと愛着を持つことのできる「まちづくり」に寄与することを目的に制定されました。

賞には次の4種類があり、毎年10月1日に表彰を行い表彰状又は感謝状及び記念品が贈られます。

- (1) 町民功労賞
- (2) 町民活動賞
- (3) 町民文化賞
- (4) 町民スポーツ賞

町民活動賞は、社会のため人のために尽くし、明るく住みよい「まちづくり」に貢献した個人、又は団体が対象となります。

その条項は次の通りです。

- (1) 自己の危険を顧みず人命の救助に当たる活動を行ったもの。
- (2) 善行、特に町民の模範となる活動を行ったもの。
- (3) 社会福祉、その他公益のため多額の私財の寄附を行ったもの。
- (4) その他、町長において特に必要があると認めたもの。

この条例の制定により、互いに称え合う風潮が広がってゆく事を大いに期待します。

節電対策は



上村康廣 議員

問

県では、浜岡原発停止を受け、県民や事業者に省エネ節電の呼びかけを行っているが、当町の取り組みは。

答

町長 例年6月から実施しているクールビズを「節電ビズ」とし、期間を延長し実施している。現在の社会情勢と電力事情を考慮し、職員をはじめ、各事業所住民の皆様の節電意識を一步進め取り組んでいきたい。また、役場内において、本年度3%の電力量の削減目標を設定したい。

防災対策は

問

東日本大震災の惨状を見る中で、当町の防災計画変更の重要点は。

答

町長 国の防災基本計画の見直しを受け、町の地域防災計画を見直すことになる。地震・津波の大きさと、これに伴う被害想定が、主な変更点となることが予想される。国の見直しに先行し、津波に備えた対策として、各地区の避難路、避難場所の精査見直しに取り組んでいる。



3%を目標に節電実行（南勢庁舎）

問

津波に対する避難の観点から、保育所の位置、小学校の位置をどう考えるか。

答

町長 東日本大震災のような津波を想定すると、どの保育所・小学校も避難が必要となる。そのため、緊急対応として、現在、保育所・学校の避難路の点検、見直し整備を進めている。早急に整備し、園児・児童・生徒の安全を確保していきたい。長期的な対応として、統廃合による高台への移転も視野に入れ、より安全・安心な対策をしていきたい。



保育園を視察する議員団（船越園）

間近にせまる危機に対して

問 多様な要素を含んだ防災対策を促進するため、防災危機管理をする部署を新設してはどうか。

答 町長 総務課内3名で行っているが、役場全体の人員不足もあり、今後の防災計画を含め検討したい。



岡本 眞 議員

若者の活躍の場を

問 団塊ジュニアはじめ、若い人達のクオリティを高め、モチベーションを上げてほしい。

答 副町長 私自身も色々な方に育てていただいたので、町の将来を見すえ、しっかりと人材育成に努めたい。



この子らに次のステージを

魅力ある水産振興を

問 行政が主導して災害に強い新しい水産業を目指すため、漁業者を含め、研究会等を開催してはどうか。

答 水産農林課長 町にとつても水産振興は悲願であり、県はじめ関係機関の協力を得て、実施を検討したい。



着々と進む大規模マグロ養殖事業（神前浦）

防災対策の見直しは



澤村圭也 議員

問

町長と職員で東北の災害を見て、今後、本町における防災対策（避難場所・公的施設・標高）の考えは。

答

町長 三陸地方の被災地を視察し、

報道以上の津波による壊滅力を実感した。さらに高い所への避難という視点で、再調査に着手している。学校・保育園等については、避難場所・避難路の整備を進めている。また、備蓄品については、町内全域に分散保管を行い、標高については、地形的に想定外の駆け上りを予想させることから、より高い場所への避難が大切と考える。



被災地の避難所のようす（岩手県大槌町）



議員による視察（古和浦防災センター）

防災指揮命令と 要援護者等の防災は



山本芳隆 議員

問 町長が不在時に地震が発生した場合の指揮命令及び情報収集は。

答 町長 地震、津波時には、災害対策本部を設置するが、その際、本部長である私が不在時は、副本部長である副町長が職務を代行することになる。情報収集については、早期に町内の被害状況を把握し、適切な対応が可能となるよう、正確な情報収集や情報提供を行う。

問 要援護者や消防団員、先生等（職務による使命感）の避難対策は。

答 町長 災害時には、地域防災では大きな課題と認識している。また、救助にあたる消防団員等も、とにかく自分自身も逃げることを徹底して欲しい。対策として、より安全に避難できるように繰り返し訓練することが重要と考える。



東北の視察報告を受ける議員

産業復興支援

問 水産業被害者への復興対策支援はあるのか。

答 町長 水産業再生を図るため、さらなる復興策を考える必要があると認識している。現在、被害地域の水産事業者の方々から、被害状況や今後の見通し等について話を聞いている段階であり、国・県の事業と連携を図り、再建支援策を検討していきたいと考える。



被災した町内の真鯛養殖いかだ

「命」を守るために！



掛橋 靖 議員

問

安心・安全な町づくりにもつての防災策について、

- ①大震災発生からの対応、進捗状況は。
- ②町民からの要望は。
- ③当町の最優先課題は。
- ④保育園、学校等の避難計画は。
- ⑤被災地視察から学んだことは。
- ⑥産業や地域を守る防災計画は。

答

町長 現在、地区の協力を得ながら、避難路と一次避難場所の精査中で、要望の多い標高の明確化や、防災倉庫の設置を含め、整備に取り掛かる。また、保育園や小中学校の避難路、避難場所が最優先で取り組む。次に現地視察で学んだ「逃げることの難しさ」については、住民の皆さんに意識を持ち続けることを訴えていく。

最後に防災計画については、産業を守るために共済等保険の加入促進、地域については「防災ハートブック」を作成し、充実強化に取り組む。



新設された南島保育所の避難路



おちついて、すみやかに避難！



熱心に避難路をチェックする議員団

通学路の安全性は

問

切原地区児童の通学路で、五ヶ所浦地内の川沿いの道路は危険と感じるが、対岸の道を整備し、通学路の変更ができないか。

答

町長 危険な区間であるということからは、以前から学校も認識している。対岸の2通りと、現在の通学路を比較して、通学路を変えた方がより安全という場合は変更するように、教育委員会で判断するようしていきたい。



林 孝充 議員

問

道路の除草作業は年間に数回行われているが、通学路区間は状況に応じて、回数を増やす事はできないか。

答

建設課長 通学路の除草作業は、国道、県道については県により、1回目が6～7月、2回目が9～10月頃にかけて除草を行っている。特に夏場は草の伸びも早く、通学する子供たちの障害にもなっている。除草回数を増やすよう県へ要請していく。



これでは危ない！（神原地区児童の通学路）



せまくて危険！（神原地区児童の通学路）



西 則 孝 議員

不明金の解決は？

問

町独自の調査が続されていると思うが、何時この不明金問題の解決ができるのか。

答

町長 時期の明言は難しいが、8月末までには内部調査結果の報告書をまとめていきたい。

どうなる防災対策

問

防災計画の見直し時期は。

答

町長 この秋には、国の中央防災会議による防災基本計画がまとまるようであり、これを見て町の地域防災を見直す。

問

災害対策本部の設置場所は。

答

町長 役場内に設置すると決まっている。ただ役場内に設置が困難であると認められる時は、状況に応じて代替施設を指定し、開設することになる。



問われる災害対策本部設置場所

自然エネルギーへの転換

問

国のエネルギー政策の転換が計られるようとする時、本町においても風力発電や、メガソーラーの研究や実施についての考えは。

答

町長 昨年12月の全員協議会で、町と度会町との町境で15基の風力発電建設計画について説明をした。



注目されるソーラーパネル（南島庁舎）

現在も事業着手に向けて事業活動が行われている。町としては、風力発電が原因による低周波音による健康被害などの議論があり、地域住民の意向も確認しながら進めていきたい。

メガソーラーについては今後の動向を見守っていききたい。

観光振興の軸は

問 観光振興に対しての基本的な考えはどうか。

答 町長 「食」と「交流・体験」を前面に出し、一次産業から三次産業までが総合的に連携した観光振興を進めていこうと考えている。



田中喜一郎 議員

災害と健康促進

問 高齢者の健康促進を図り、元気で共助しあえる環境をととのえる事も大切だと思うが。

答 福祉課長 住民皆様が健康であるという事が、災害に強い地域づくりにつながると考えている。

高齢者の方については、地域で自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会を構築するきっかけづくりができればと考えている。



はつらつ健脚運動

「食」による体づくり

問 健康だけでなく、体づくりのためにも「食」が大切であると考えているが、学校での取り組みはどうか。

答 教育長 各学校で「食に関する指導計画」をつくり、給食を通じた食育のほか、家庭科・保健体育・社会・理科などの各教科や、総合的な時間、特別活動などの中で、心も含めた健康づくり、体づくりのために食育を行っている。



新しい試みの給食バイキング



中山 盛 議員

新しい南島メディカルセンターの運営は

問

平成24年4月に開設される南島メディカルセンターの運営について町の考え方は。

問

一次救急体制の充実など、体制の充実は。

答

町長 医師3名の診療体制を確保し、南島地域の医療と介護福祉の拠点としての役割を果たす事を、厚生連と協議し確認している。

答

町長 可能な限り、医師、看護師及び医療スタッフの増員に努め、一次救急体制の更なる充実を目指していきたい。



現在の南島メディカルセンター



待ち望まれる新南島メディカルセンター

安全神話は崩れたが

問

政府と電力会社が主張してきた、日本の原発の「安全神話」が崩れたが、町としての様に分析されたのか。

答

町長 マスコミ等の報道からみて、

今回の事故は直接的に巨大地震と大津波が原因だと思う。また、天災、人災を問わず、原発はひとたび事故が起きれば取り返しがつかない大惨事になる可能性が高いと感じている。



手塚征男 議員

被災地へ漁船を！

問

漁業者が一番求めている、現場で使える船を贈る施策を考えると。

答

水産農林課長 三重県漁連を中心に漁信連等の関係者が一体となり、プロジェクトを立ち上げ取り組んでいる。



歴史に残る碑（南島庁舎前）

どうなる 不明金

問

公金を横領した者に、町はいつ返還を求めるのか。

答

町長 8月末には内部調査結果の報告書をまとめ、その結果をもつて、刑事事件の取り扱いであるのかどうか責任を追及するべき相手方や、その方法なども判断していく。



被災した無惨な漁船（東北）



岡田和夫 議員

どうする 震災対応

問

避難所の見直しと避難路の整備が急務であるが、いつまでに行うのか。

答

町長 本年8月末までに副町長をトップにしたプロジェクトチームによる見直しと必要事項をまとめ、現地の調査を行い、できれば本年度中に整備を完了したいと考えている。



見直しが急務な防災センター

問

新しく策定される総合計画に、東日本大震災の教訓が生かされていないのではないか。

答

町長 基本構想、基本計画に変更はできないが、施策面で東日本大震災の教訓を生かしていきたいと考えている。

教訓を生かせ、総合計画に



新しい総合計画プロジェクト

大丈夫か、津波対策



山本周也 議員

問

保育所・介護施設・
小中学校等の避難
訓練は十分にされている
のか。

答

町長 保育所・小
中学校については、
大津波を想定した避難訓
練を行っている。福祉関
係施設では、立場所が
10 m 以下にもかかわらず、
避難訓練を行っていない
施設が3ヶ所あり、移転
も含めた対策が必要と考
える。

楽しんで健康づくり

問

近年盛んになって
いるグランドゴル
フについて伺いたい。

答

教育長 意欲的な
活動は、できるだ
け支援したい。例えばグ
ランドゴルフ大会のプロ
グラム作成、町バスの活
用、道具の活用、大会へ
の職員派遣等。



人気が高まるグランドゴルフ

問

批判されるべき不
明金を発生させた
当時の町行政機構の体質
に関する見解を伺いたい。

答

町長 「可能な限
り事の真相の究明
に努め、責任の所在を明
らかにする」という考え
で、内部調査に取り組ん
でいる。この8月下旬に
は調査結果報告書をまと
め、不明金問題について
の町の認識を示す。

行政の見解を問う



答弁する町長



田曾浦区長と懇談（自主防災組織について）

レポート

常任委員会報告

総務財政 委員会

30年以内に東海・南海・南海地震の起こる確率が87%といわれる中で、総務財政、教育民生、産業建設の常任委員会が開催され、それぞれの担当部門が防災に対する視察や検討を行いました。

避難場所、過去の津波で大きな被害があった場



海辺の船越保育園

所、保育所・学校の安全確認、防災対策が特に進んでいる地域等を対象に、委員全員が参加して町内視察を行い、終了後、総務課長に出席を求め総括を行った。

田曾浦 自主防災組織の活動が極めてすばらしい地域。

神津佐 過去の津波の被害も大きく、最近の津波でも最も潮位の高い地域。

船越 船越園が海のそばにあり、避難路についての選択や国道を横断する際の危険性の検討が必要。

迫間浦 津波の被害を教訓に、高台に家に移った。

阿曾浦 町内一のスーパ―堤防が整備されている。

賛浦 過去に大きな被害があり、供養塔が建てられている。

神前浦 避難場所と保育園の避難路が整備されていない。

古和浦 過去の大きな被害を教訓に、すばらしい対策をしている地域。

以上、8ポイントを軸に各地区の検証をしたが、広い町内、一回では回きれない為、次回に他地域の視察をする事とした。

総括として、避難路、避難場所は早急に見直す必要がある事、各地区に結成されている自主防災組織の育成が急務である事、避難場所へ誘導する為のソーラーによる照明器具の設置が急がれる事を担当課に申し述べた。

（5月19日）



整備がまたれる南島保育園避難路



危険な避難路（神原保育園）

教育民生

委員会

当町は海に近い場所に保育園、小中学校がある為、予測されている東海・東南海・南海地震の三連動が起こった場合、園児や児童生徒の命をいかに守るかが急務である為、担当課長出席のもと、防災対策の見直し、避難訓練の実施の有無などを詳細にチェックした。

各委員からはきびしい質問があつたが、避難訓練等は全て実施されており、安堵した。

町立病院では、自力で避難できない患者の事を考慮し、その避難方法を担当者間で充分検討をしているとの事であつた。

（5月19日）

産業建設

委員会

東日本大震災における当町の津波被害状況の聞きとりと、防災計画の見直しについて担当課を招集し、委員会を開催した。被害状況は、水産業の魚類養殖と真珠養殖、定置網に甚大な被害があり、総額15億を超える額となつた。

復旧に向けての進捗状況は順調に進んでいると



被災した当町の養殖いかだ

の事で、その後の復興について町の考えを聞いた。近いうちに起こると予



復興がまたれる被災地のようす

測されている東海・東南海・南海地震への対策として、避難場所、避難路の整備、海岸堤防の高さはどうなっているかについて厳しい質問が出た。

また、ライフラインの確保について、食糧、医薬品の備蓄状況についての報告と、防災ヘリの離発着場所についての説明があつた。

いつ起きても不思議でない状況下において、“備えあれば憂いなし”を充分認識し、対策をとる様、要望して閉会した。

（5月30日）



五ヶ所浅間山より



宿浦浅間山より

南伊勢町

絶景スポット



馬山山頂(五ヶ所)より

地域活性化 特別委員会 から

本町の現況を危惧し経済活性化に対する活発な意見が多く出され、その一つひとつの意見に重み、郷土愛を感じた南老連との懇談は、たいへん参考になり有意義な会でした。また、会員数12名（小学生1名、中学生2名を含む）の南島豊漁太鼓の練習風景を見学させていただき、12名の目の輝き、一糸乱れない動作、調和の取れた力強い太鼓の響きに感動させられました。「何故、太鼓を始めたのですか」との問いに、「もっと上手くなつて、町民の方々に聞いてもらいたい」との事。本当に太鼓を愛し、太鼓と共に人間成長をしている文化活性化団体でした。地域活性化特別委員会は、引き続き活動します。

議会を傍聴 しませんか

9月定例会が開催されます。開催は9月中頃を予定しています。是非傍聴してください。（当日、総務課で受付をすればOKです）

編集後記



東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしましたが、この事により私たちが得た教訓も数え切れません。被災後の夏は厳しい暑さですが、東北の人々は我慢強く、常に「前を向いてあるこう。」の精神で頑張っています。私たちも、雨ニモマケズ、風ニモマケズ、夏ノ暑サニモマケズ頑張りますように。

議会だよりについてのお問い合わせ等は、議会事務局までご連絡ください。

☎ 0599-661781

議長 上村 久仁

議会広報特別委員会

委員長	松葉 和久
副委員長	掛橋 靖
委員	岡本 眞
	畑 芳弘
	林 孝充